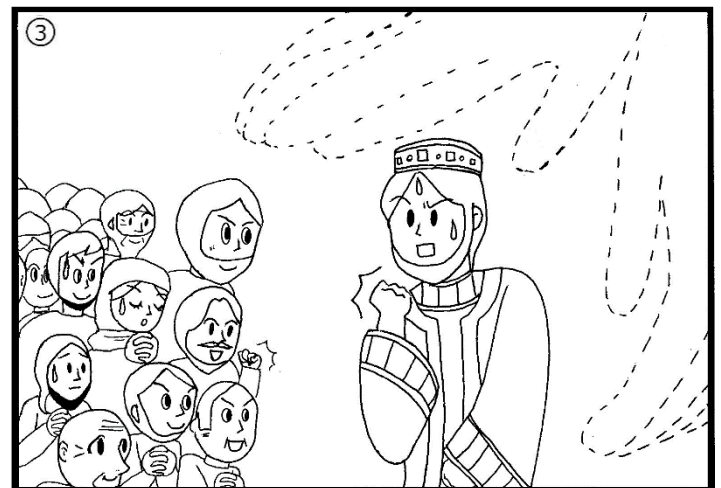
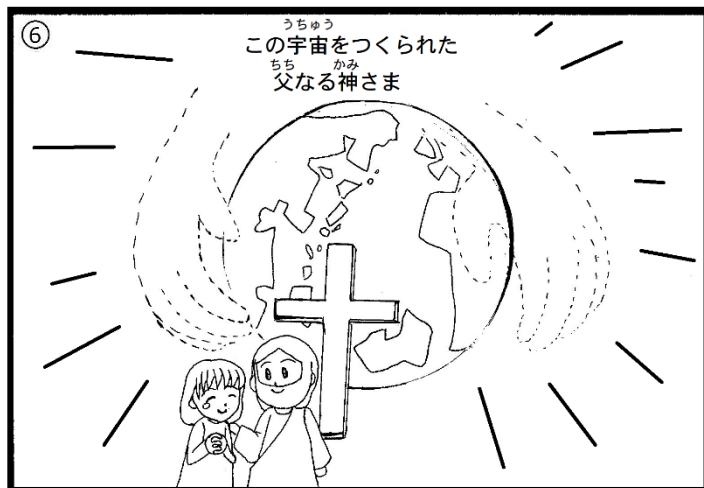
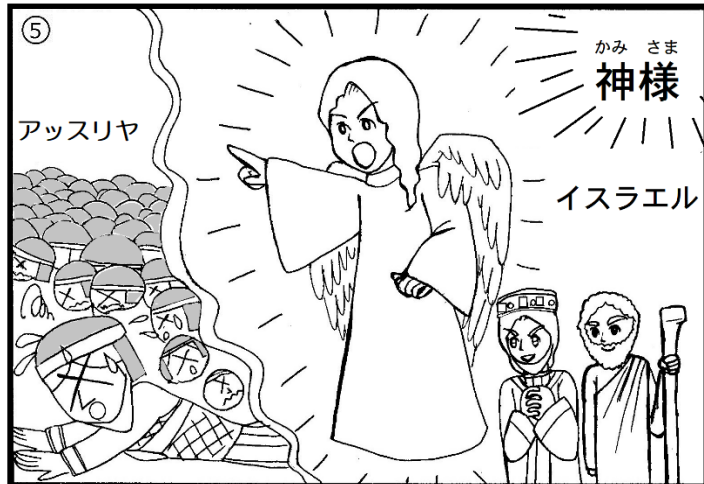
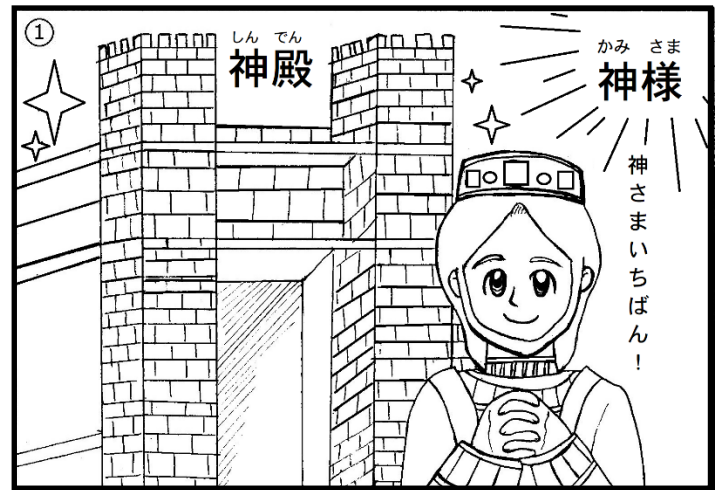
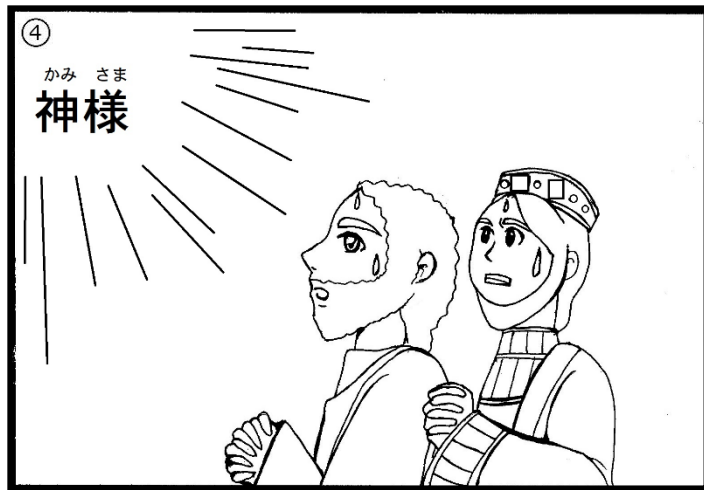


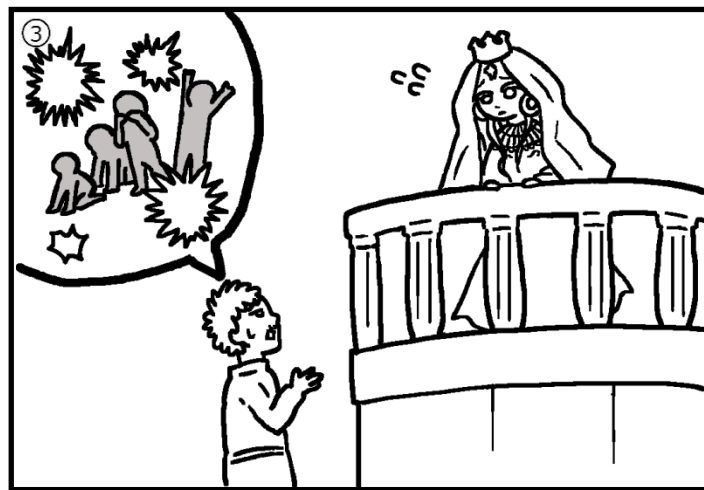
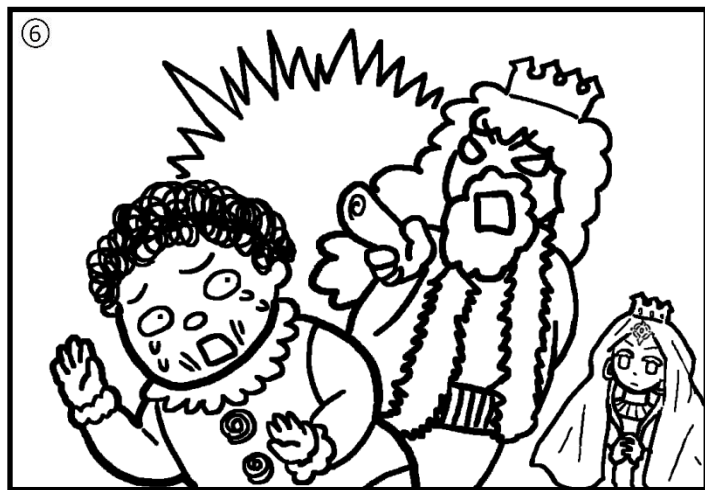
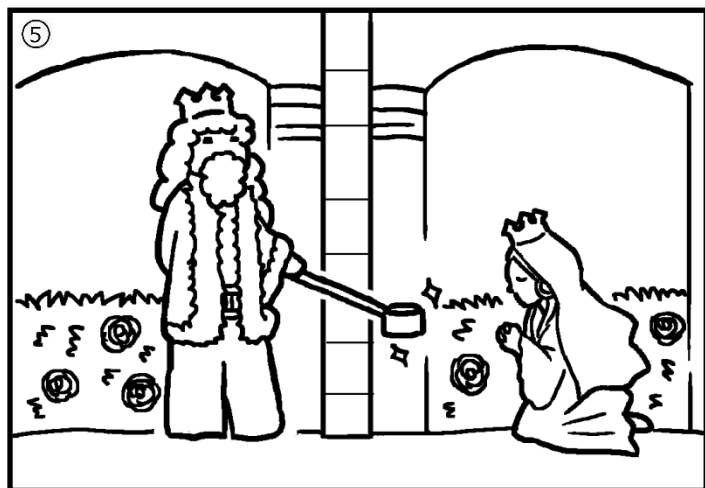
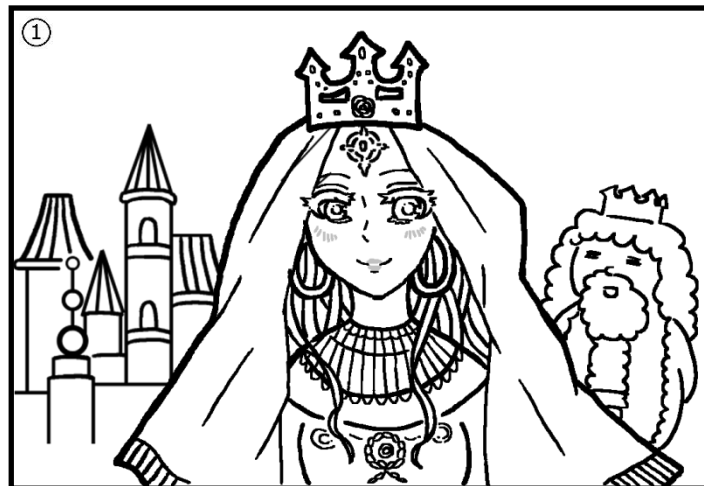
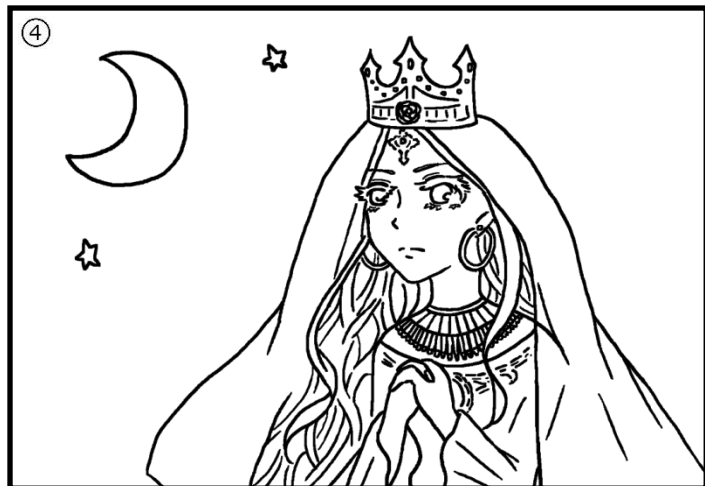
7月1日 レハベアムとヤラベアム 列王上12・1～19

1. レハベアム王様は、お父さんのソロモン王様の後を継いでイスラエルの王様になりました。
2. 人々はレハベアム王様の元にやってきて、ソロモン王様は厳しかったけれども、あなたは優しくして下さい、と願ったのです。
3. レハベアム王様は、まず、長年ソロモン王様に仕えてきた僕たちに相談しました。彼らは「もしあなたが親切なことばを語られるならば、彼らは永久にあなたのしもべとなるでしょう。」といいました。
4. 自分の子分のような若い僕たちにも相談すると彼らは、国民に「わたしはさらに、あなたのくびきを重くしよう…」というように勧めました。
5. 人々は怒り、多くの国民がレハベアム王様から離れていきました。そして今まで一つだったイスラエルの国は、北(10部族)と南(2部族)に別れてしまったのです。
6. 大事な事は、いつも最高の王様イエス様をお手本にする事です。イエス様は子どもにも、女の人にも、病気の人にも、罪のある人にも優しく接し、「めぐみにめぐみを加えられ」ました。



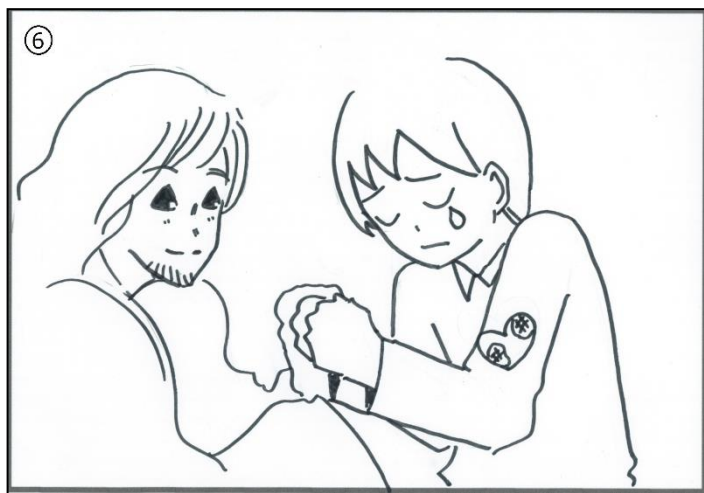
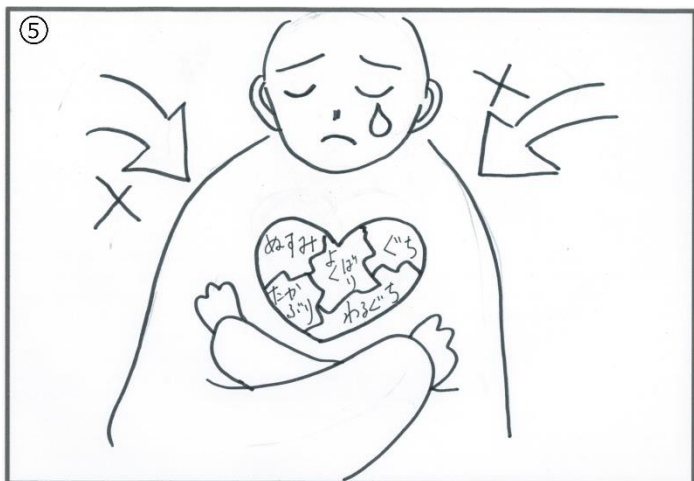
7月8日 ヒゼキヤ 歴代下 32・9～22

1. ヒゼキヤ王様は、ダビデ王様のように、神様を信じ、敬う王様で、偶像を壊し、神の宮である神殿をきれいに整えて、もう一度ちゃんと礼拝がささげられるようにしました。神様を一番にしていました。
2. そのようにヒゼキヤ王様が神様の前に良い事、正しい事、忠実な事を行った後、大ピンチがやってきました。とても強いアッスリヤという国の大軍団がユダの国を滅ぼそうと迫ってきたのです！
3. ヒゼキヤ王様は、勿論、怖かったと思いますが、だからこそ神様を信じ、勇気を出しました。そして国のみんなを励まして言いました。
4. ヒゼキヤ王様は預言者イザヤと一緒に、必死にお祈りしました。
5. 祈ったら、スゴイ奇跡が起きました。なんと神のみ使いがアッスリヤの大軍（十八万五千人）をやっつけてくれたのです！ユダの国は神様によって守られたのです！
6. 神様を信じている私たちには、乗り越えられないピンチは一つも無いのです！ピンチの時は、信じて、一生懸命に祈って下さい。なんでもできる神様が、あなたの味方なのです！



7月15日 「神様から与えられた使命に生きよう！」 エステル4・1～17

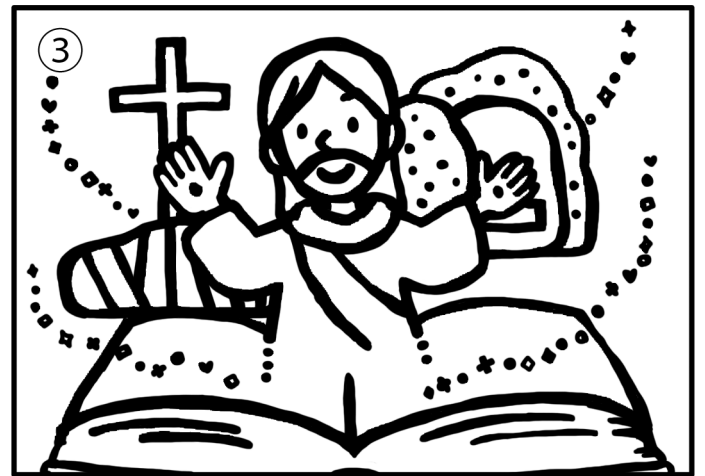
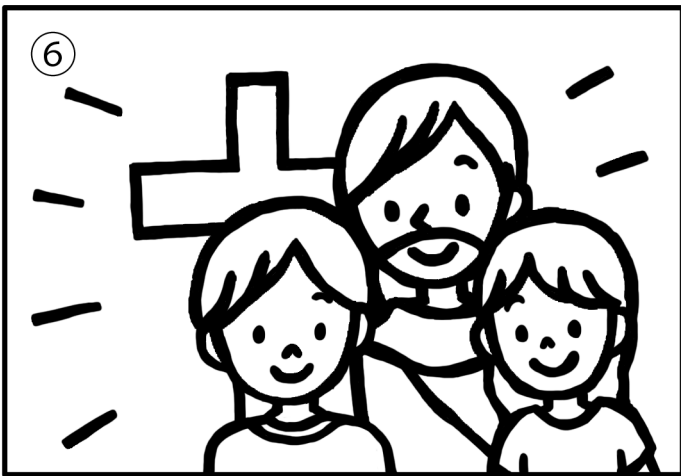
1. 命をかけて使命を果たした女性のお話です。王妃として選びぬかれたすてきな女性、それがエステルでした。
2. ハマンに、モルデカイだけは敬礼しませんでした。その事に怒ったハマンは、王さまを上手にだまして、モルデカイと、その出身の民族であるユダヤ人全員を殺すように命令させたのです。
3. モルデカイは、「エステルから王さまにお願いして、ユダヤ人の命を助けてほしい!」と告げました。そして「もしあなたが黙っていたら、別の所からきっと助けがあるでしょう。でも…あなたがこの王国に来たのは、この時のためかもしれないですよ!」
4. エステルは答えました。「行って都にいるすべてのユダヤ人を集め、三日間なにも食べないで祈って下さい。私も祈ります。法律にそむくことですが、王のもとへ行きます。私がもし死なねばならないのなら、死にます」
5. エステルが王さまにお願いしようと庭に入りました。すると、王さまのしゃくがエステルに伸ばされ、王さまはエステルのお願いを聞き入れたのです。
6. ハマンの立てたユダヤ人全員を殺す計画は失敗し、代わりにハマンが王さまに処刑されたのです。



7月22日 「人を汚すもの」 マルコ7・17～23

1. 心の中は見えません。私達の心はどうでしょうか。
2. イエス様の時代にパリサイ人と呼ばれる人がいました。
3. パリサイ人たちはイエス様の弟子たちが、自分たちの守ってきた言い伝えを守らないのが気に入りません。
4. イエス様はそんなパリサイ人たちの心を知っておられました
5. 「人の外から中に入って、人をけがすことができるものはない。人の中から出てくるものが人をけがすのだ」
6. でもだいじょうぶ。イエス様はわたしたちの心の中のきたないところを知っていてくださいます。恥ずかしがらずに、自分の心のきたないところを悔い改めてイエス様にお祈りしましょう。

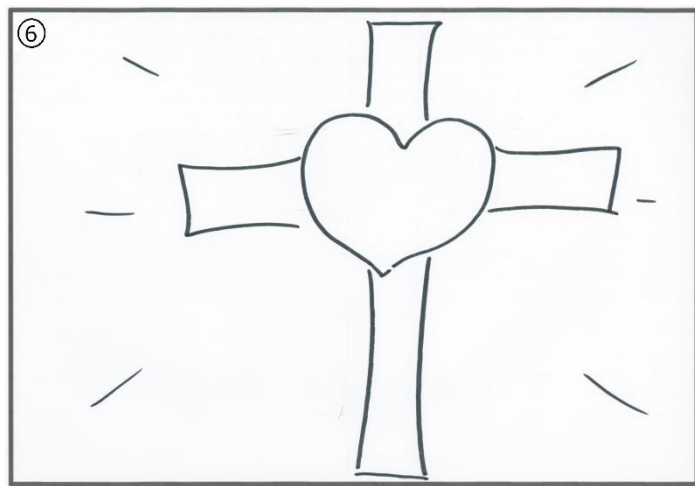
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



7月29日 イエス様の死と復活 Ⅰコリント15・3～8

1. リー・ストロベルさんは新聞記者としてキリストの十字架と復活について調べました。
2. 使徒パウロはクリスチャンたちを迫害に向かう途中に復活のイエス様の語る声を聞きました。
3. パウロはイエス様と寝食を共にした弟子たちとは違い、よけい真剣に十字架と死、復活について調べ、考え神様から教えていただきました。
4. パウロがもっとも大事なこととして伝えたのは、みことばに裏付けられた事からでした。
5. イエス様の復活は夢物語ではありません。多くの証人がいる、ゆるぎない事実の出来事です。
6. あなたもイエス様を信じ、永遠の命に生きる者となりましょう。

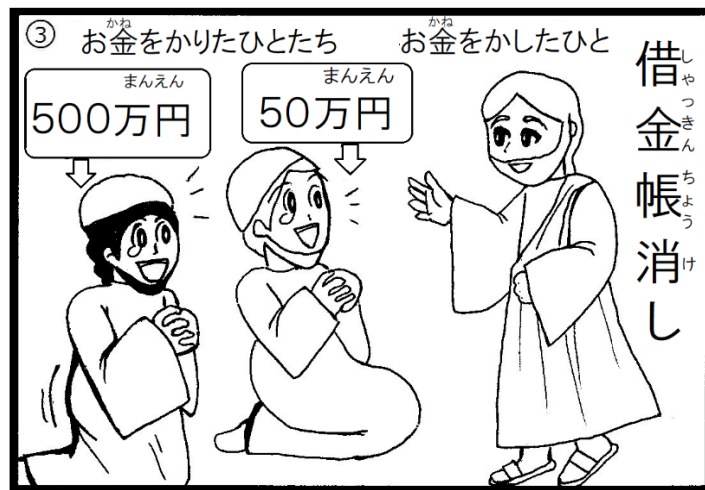
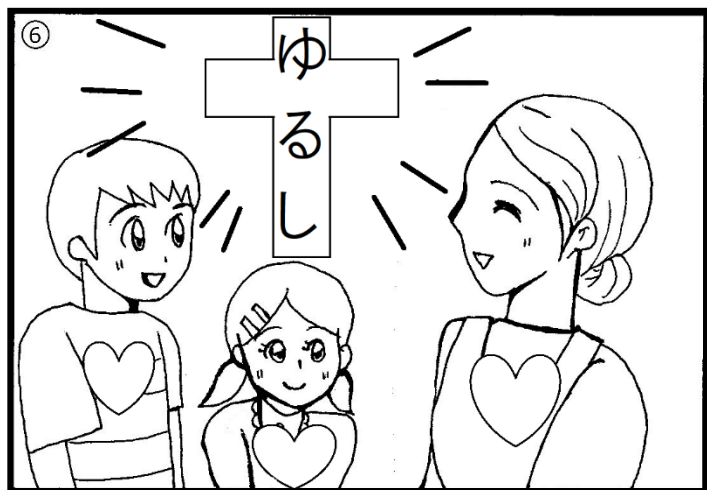
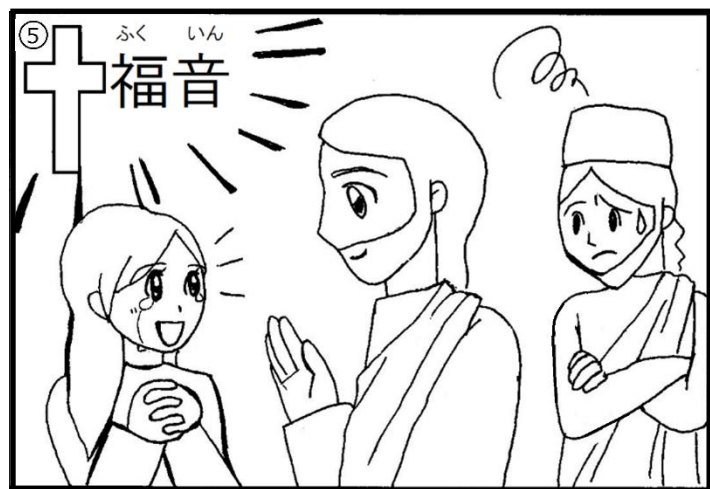
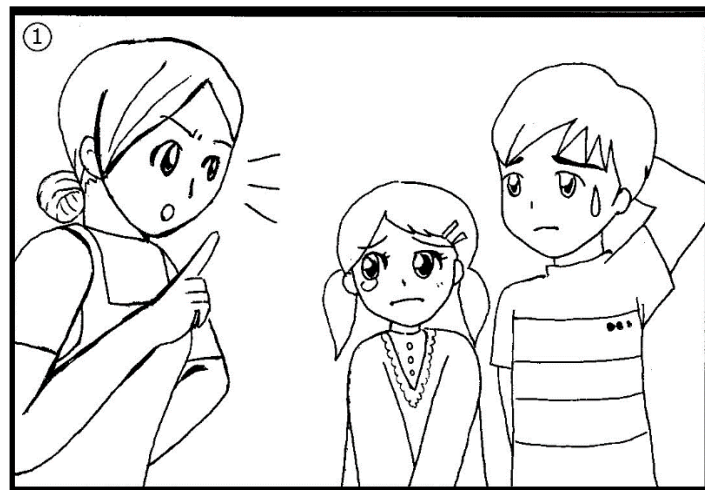
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



8月5日 「悔い改めて福音を信ぜよ」 マルコ1・14～15

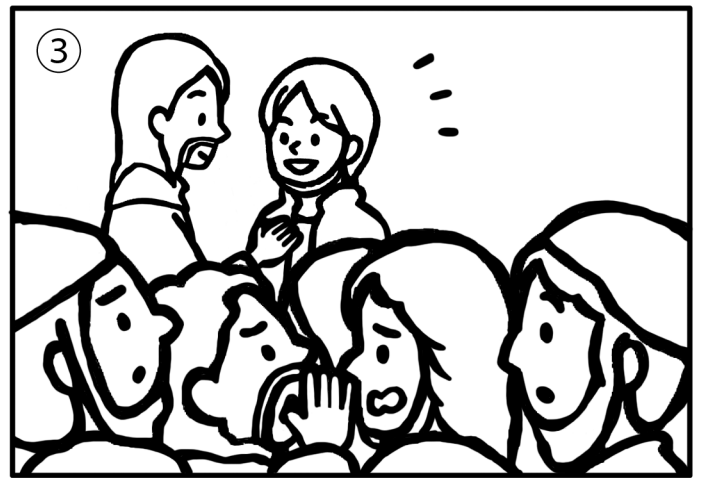
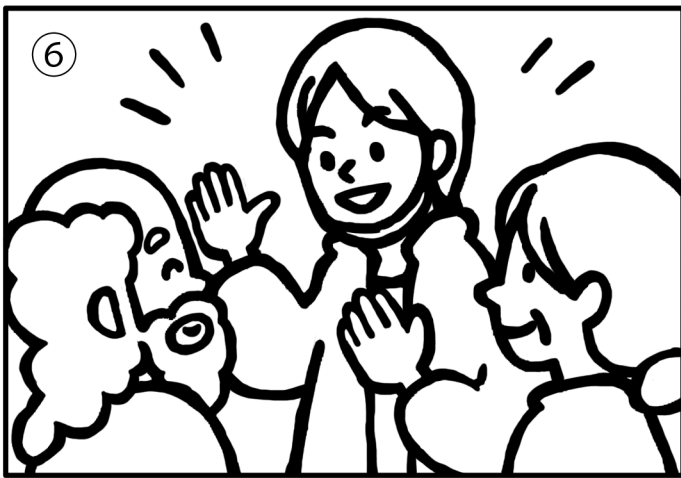
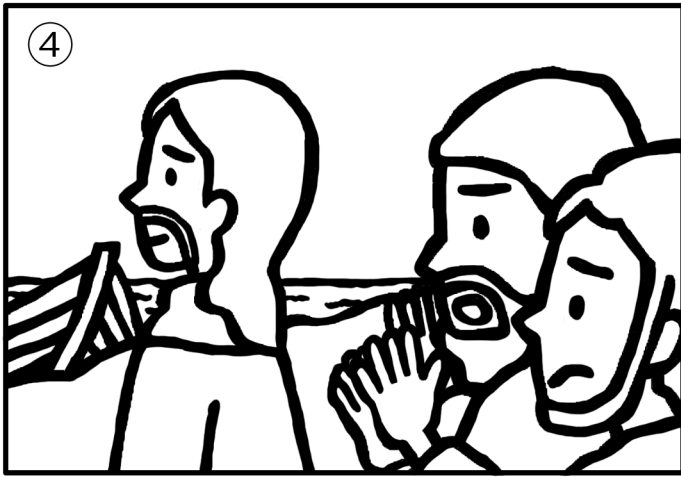
1. みなさんはバプテスマのヨハネを知っていますか。
2. 「悔い改めてなさい。イスラエルの人に生まれたからと言って安心してはいけません。罪がきよめられたしるしにバプテスマを受けなさい」
3. バプテスマのヨハネは王様のきげんを損ねて牢屋に入れられてしまいました。
4. 「時は満ちた。神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ。」
5. わたしたちは自分がいちばん、自分を王様にして生きています。
6. 十字架にまでかかってくださったイエス様の愛を受けとめましょう。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



8月12日 「罪赦された者として」 ルカ7・36～50

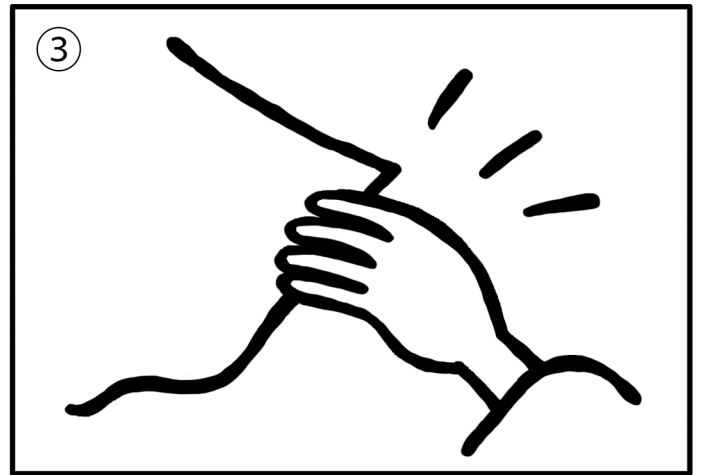
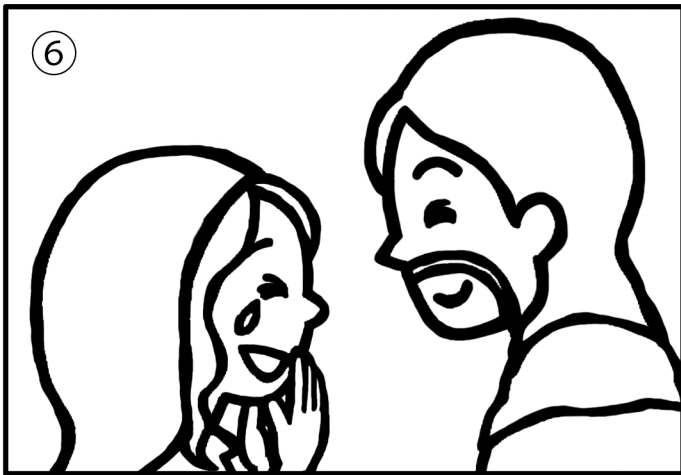
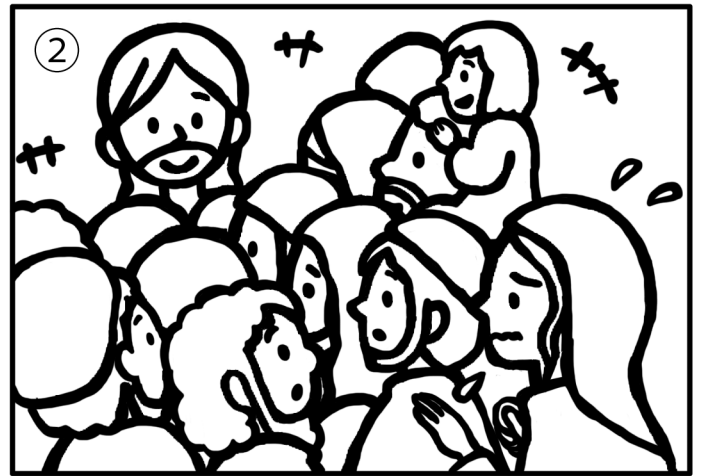
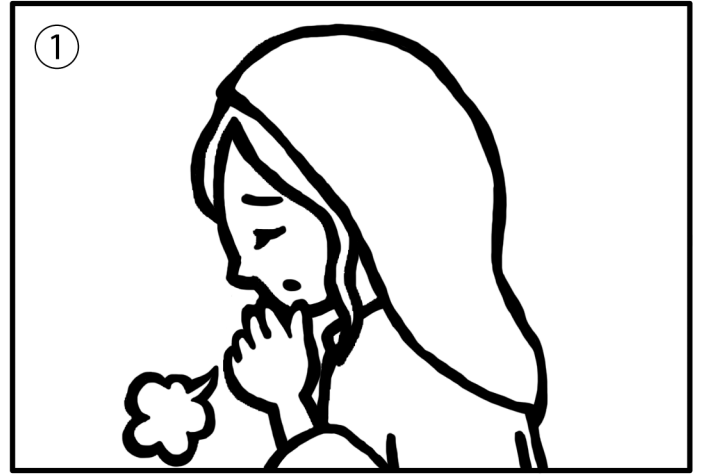
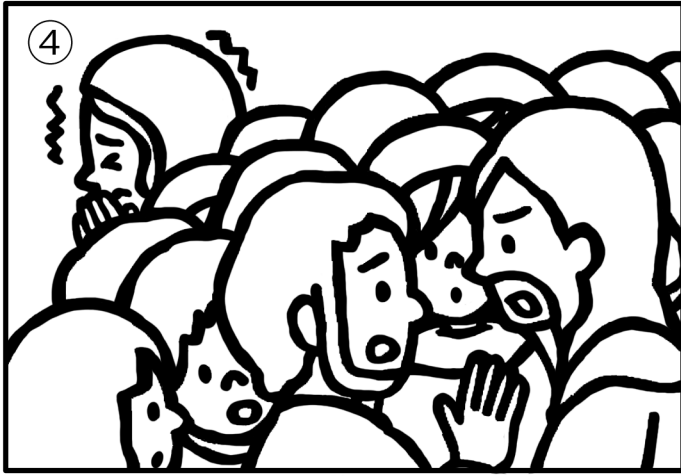
- けんかして、欲張ってはいけないこと、ゆるすことを教えられました。
- 高価な石膏のツボを持った女の人が、シモンさんに招かれたイエス様の足に、自分の涙で足を塗らし、髪の毛でイエス様の足をふきました。シモンさんは心の中で見下していました。
- イエス様は、シモンさんにたとえ話をされました。
- イエス様はシモンに質問しました。
- イエス様は女の人を見ながら、罪のゆるしの福音を告げられました。
- たくさん赦された喜びは、お友達との関係もゆるし愛しあえる力になります。



8月19日 悪霊からの解放 ルカ8・26～39

1. イエス様は悪霊に取りつかれている男の人に出会いました。その人はイエス様を見ると突然叫びました。
2. 「この人から出ていけ！」と命じられた悪霊は豚の大群に乗り移り、崖から湖へなだれ落ちていきました。
3. 人々がその出来事を見ようとやって来た町の人々は、男の人のあまりの変わりようを信じきれずに、恐れるばかりでした。
4. また、豚飼いたちもイエス様にこの地方から離れてくださるよう懇願しました。
5. 男の人が町を出ていこうとしたイエス様を「一緒に連れて行って下さい。」と追いかけてきました。
6. 男の人は家に帰り、家の人や、近所の人、出会う人たちに、イエス様が悪霊を追い出してくださったこと、悪霊に打ち勝つ力ある方であることを証しました。

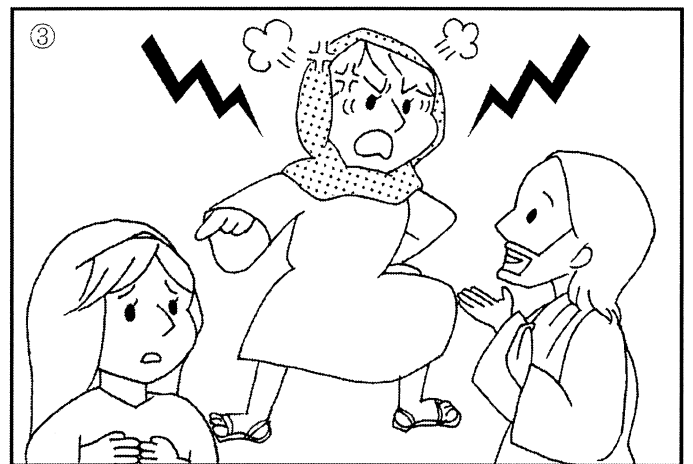
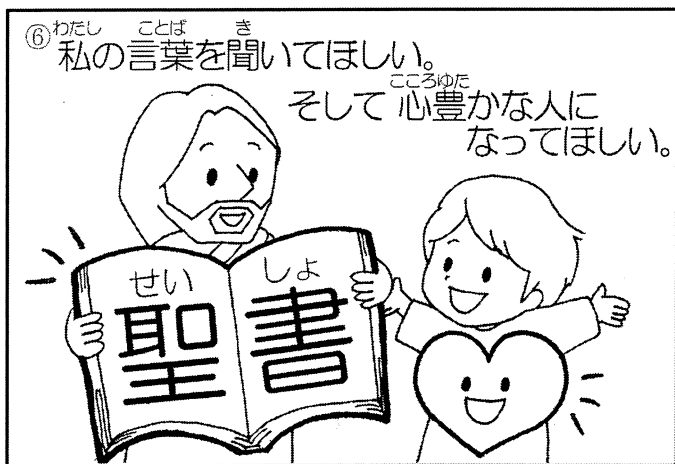
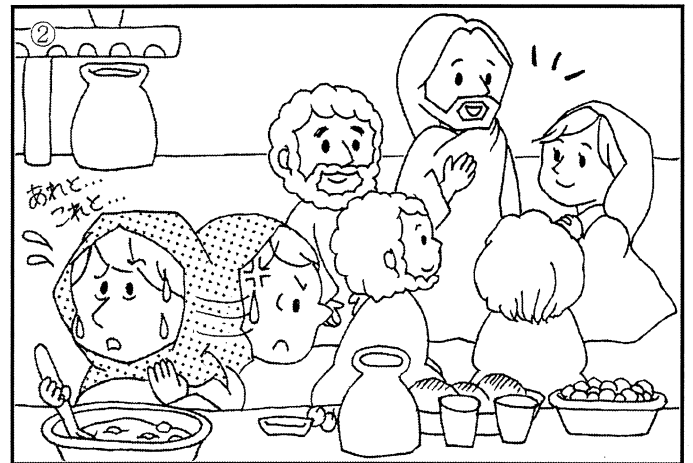
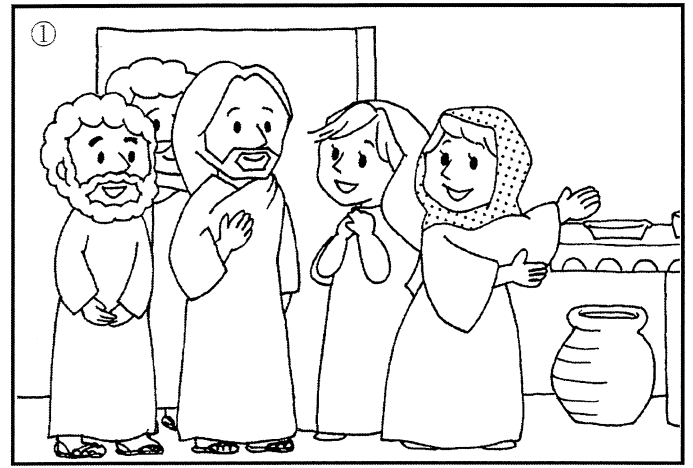
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



8月26日 医者から見放された人 ルカ8・43～48

1. この女の人は十二年間も病気で苦しみました。毎日なげき悲しんで暮らし、ため息ばかりついていました。
2. 「イエス様ならきっと、治してくださるにちがいないわ!」と決心して町へ出かけてみると、おおぜいの人
がイエス様のまわりを取り囲んで近づくことはできません。
3. 女の方は、せめてイエス様の衣のすそにでも触るなら癒してもらえるにちがいないと信じてそっと手を伸
ばし、衣のすそに触りました。
4. イエス様は「わたしにさわったのは、だれか。」と周りを見回しました。女の方は人々の間に隠れていました。
5. 震えながらおそるおそるイエス様の前に進みでてひれ伏し、みんなの前で、ありのままを話しました。
6. あなたの信仰があなたを救ったのですよ。安心して家に帰り、これからは元気にくらしなさい。」とイエス
様はやさしくおっしゃいました。

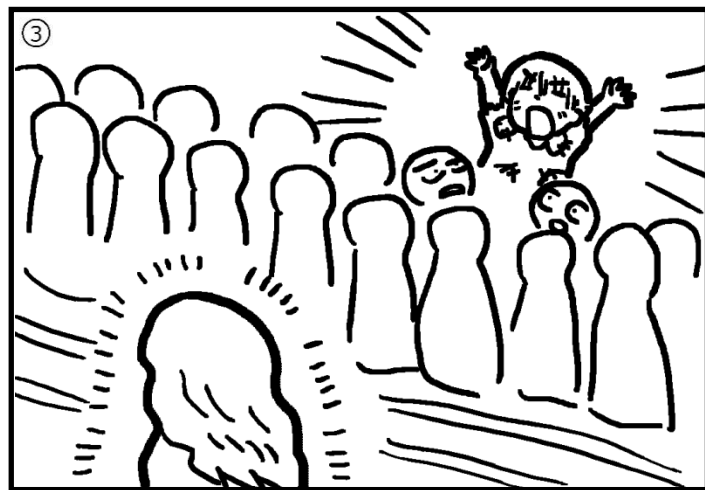
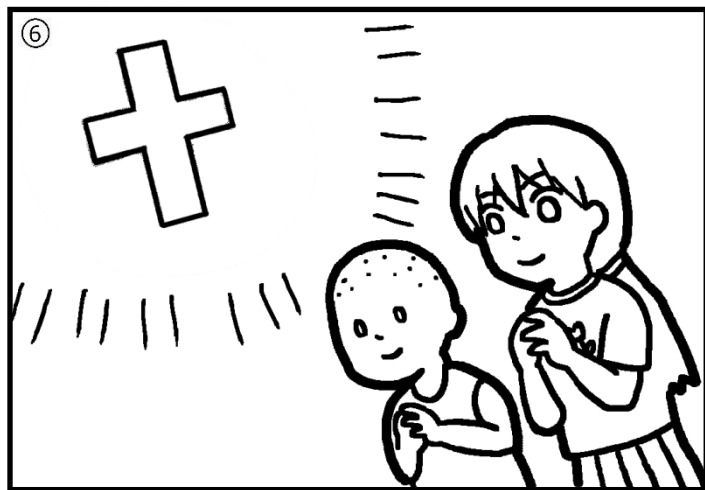
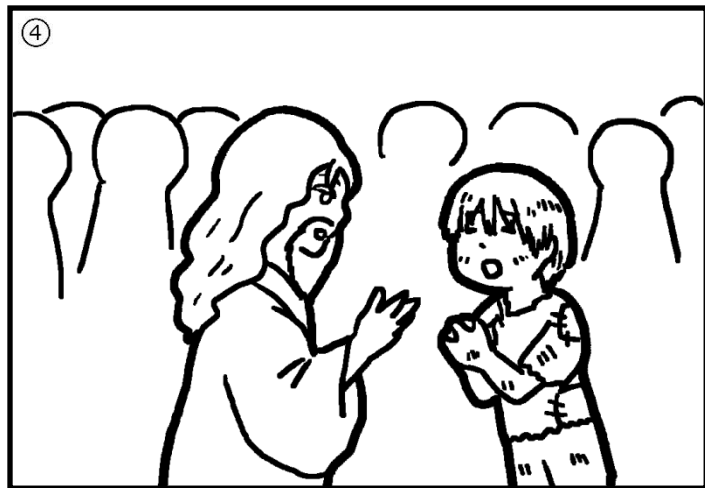
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



9月2日 「イエス様の御声を聞こう！」 ルカ 10・38～42

1. イエス様がマルタとマリヤの家を訪問された。
2. イエス様の話を聞いているマリヤに、マルタは料理をしながら、イライラしている。
3. マルタはイエス様にイライラをぶつけた。イエス様はマルタに、「マルタ、あなたは多くのことに心を配って思いわずらっている」と、おっしゃった。
4. イエス様はマルタに「無くてならぬものは多くはない。・・・」と、おっしゃった。
5. 私たちに必要なものは、食べ物(パン)と、心の食べ物であるイエス様のみ言葉。豊かな心について。
6. イエス様は「私の言葉を聞いてほしい。そして豊かな心になってほしい」と願っている。
 イエス様の御声は、聖書を通して聞くことができる。

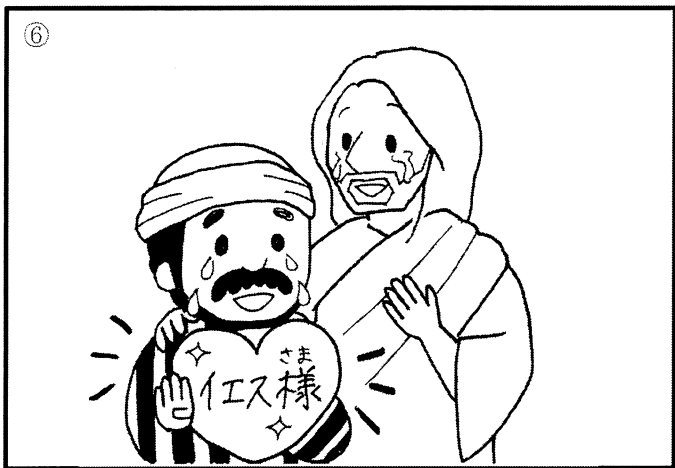
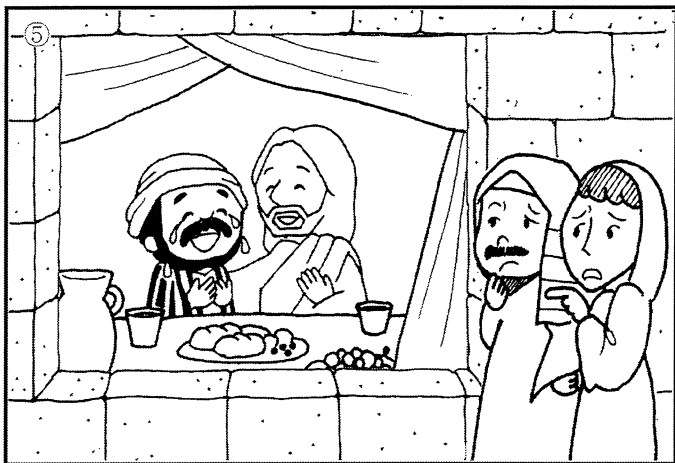
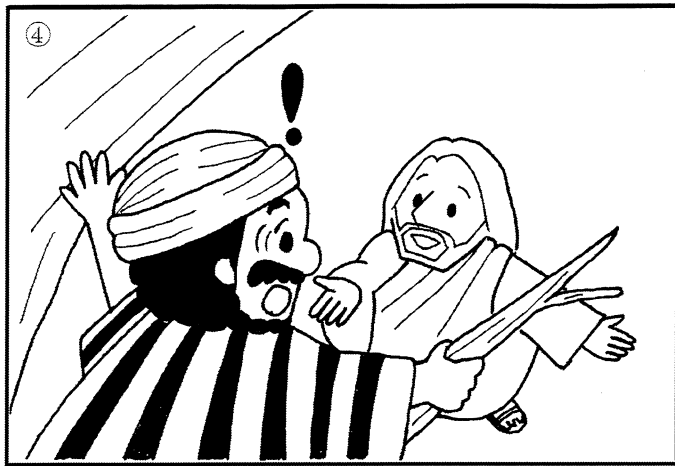
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月9日 「盲人のいやし」 ルカ 18・35～43

1. バルテマイという目の見えない男の人がいました。働くことができないので門の前に座っていました。
2. 急に周りが騒がしくなりました。バルテマイは道行く人にたずねました。すると人々は「ナザレのイエスがお通りになるのだよ」と口々に答えました。
3. バルテマイは大きな声で何度も「ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんでください!」と叫びました。
4. するとイエス様は立ち止まって「わたしに何をしてほしいのか」と言われました。バルテマイは「主よ、見えるようになることです」と答えました。
5. イエス様は「見えるようになれば。あなたの信仰があなたを救いました」と言われました。するとバルテマイの目は見えるようになったのです。喜びの叫び声をあげ、イエス様に従っていったのです。
6. 心から信じて必死にお祈りしましょう。

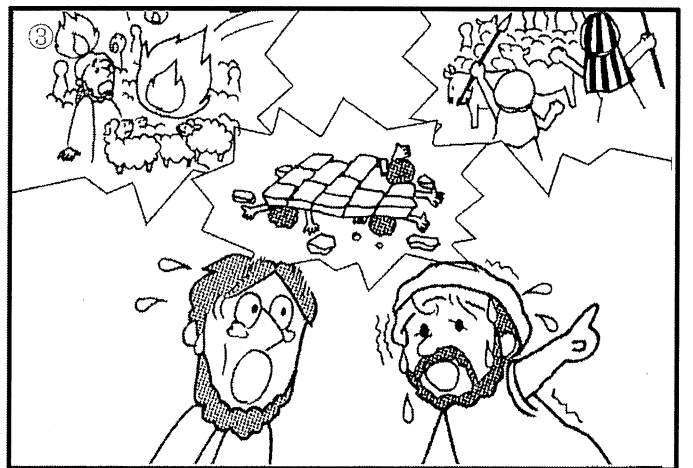
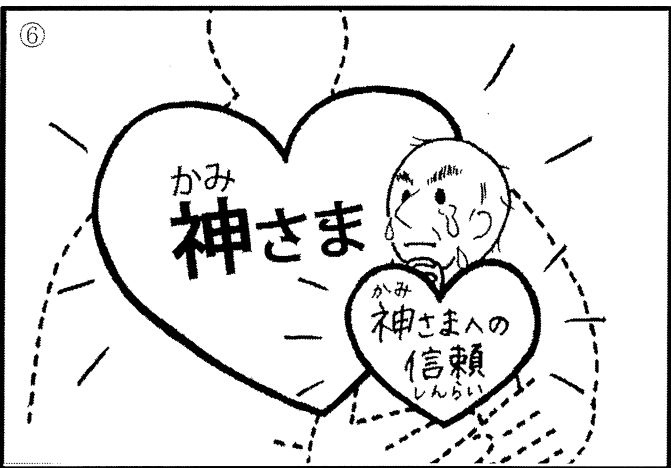
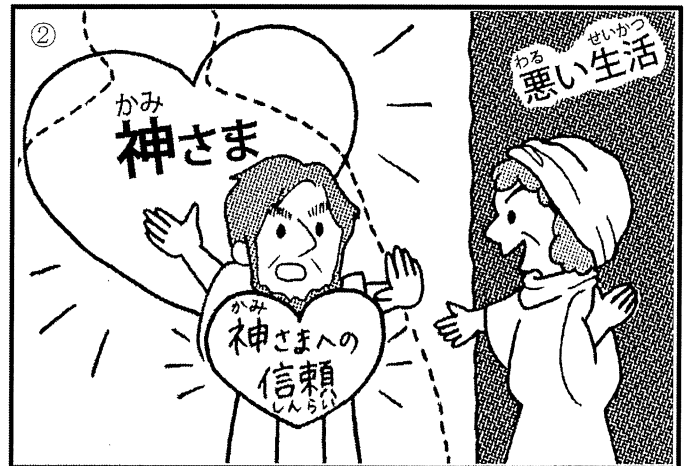
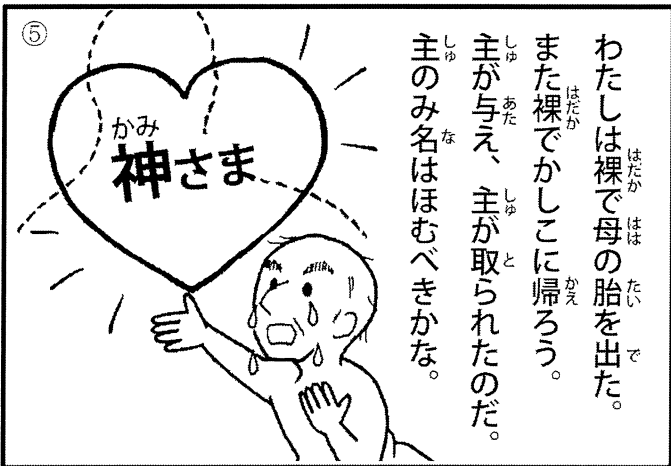
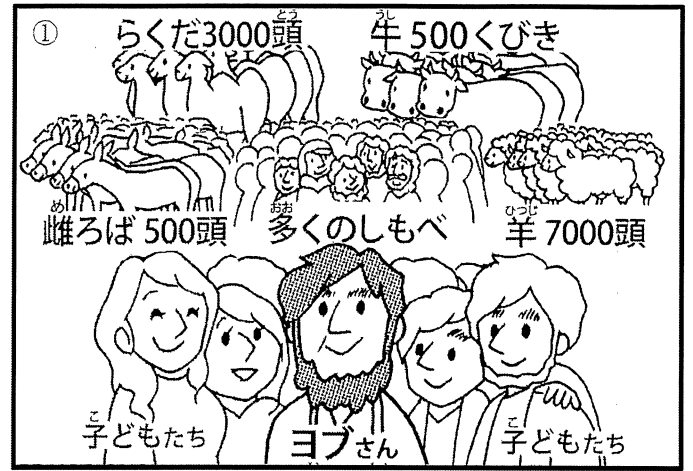
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月16日 「新しくされる出会い」 ルカ 19・1～10

1. ザアカイは、取税人で、嫌われ者。
2. ザアカイは背が低く、たくさんの人にさえぎられてイエス様を見ることができない。
3. 木に登り、イエス様を見たザアカイ。
4. イエス様は見上げて、ザアカイに話しかけ、ザアカイは驚いている。
5. ザアカイの家にイエス様が入られた。外には、イエス様を非難する人。
6. イエス様を心に迎え入れ、罪を悔い改めたザアカイ。ザアカイの救いをうれしく思うイエス様。

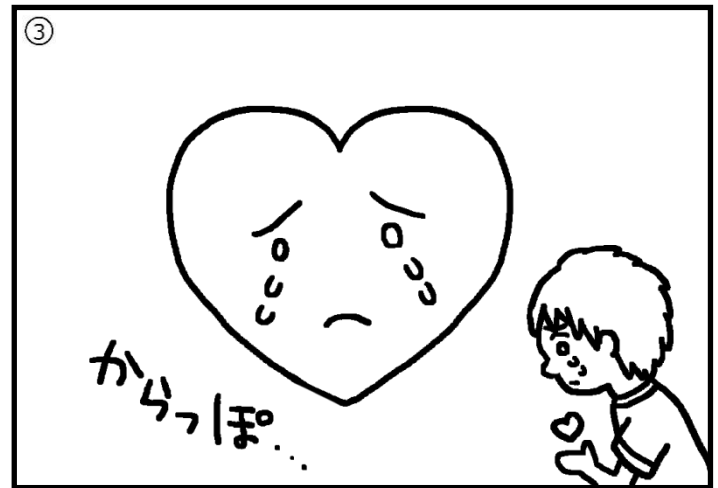
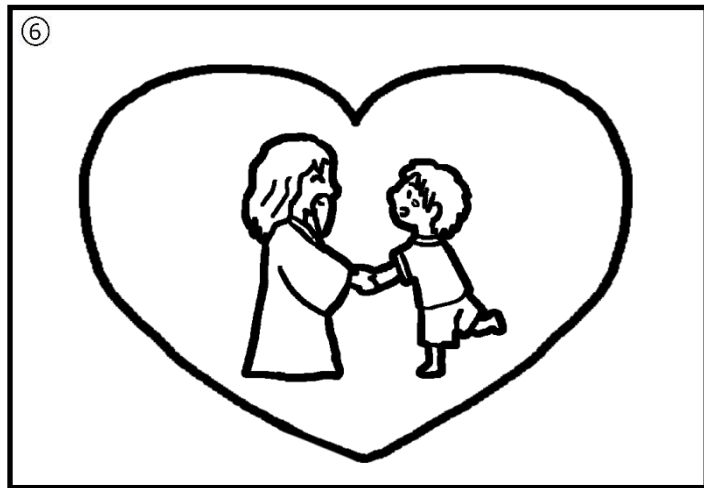
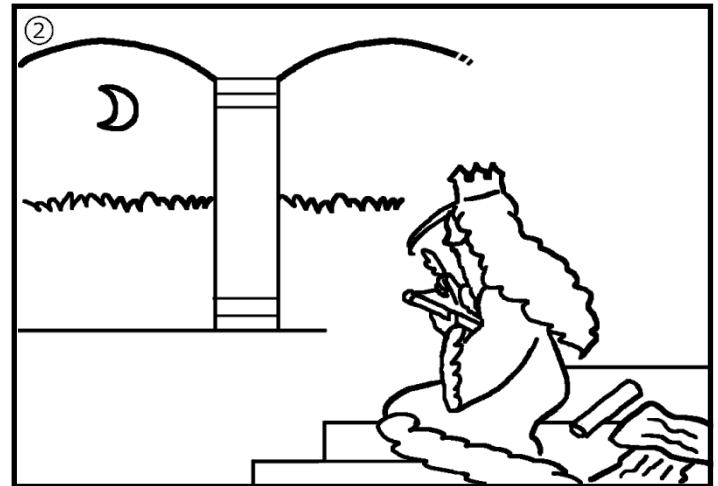
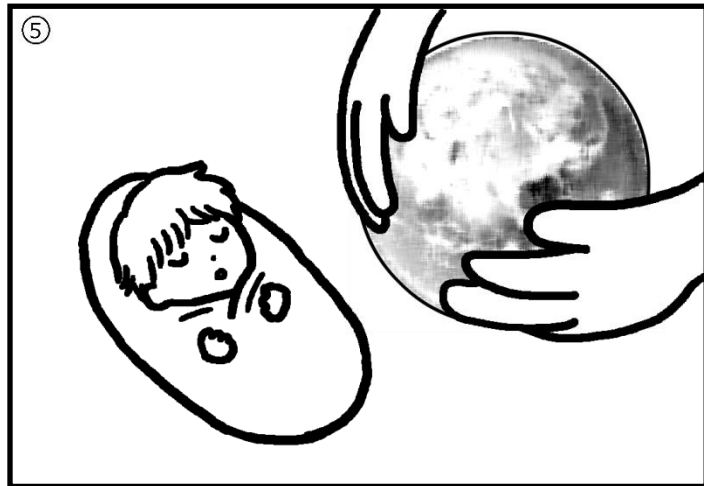
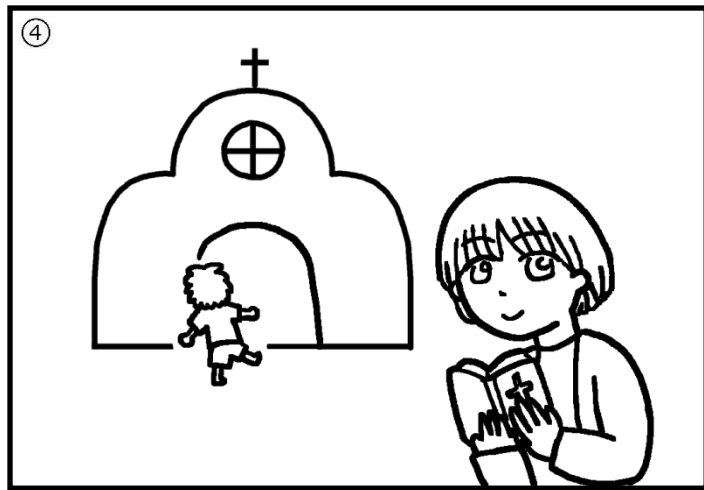
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月23日「どんな時も賛美しよう」 ヨブ 1・1～22

1. 裕福なヨブさん。
2. ヨブさんは、神様を心から信頼していた。悪い生活からも離れていた。
3. 突然、困難が襲ってきて、驚くヨブさん。
4. ヨブさんは、深く悲しんで、自分の上着を裂き、頭をそった。
5. 神様を賛美するヨブさん。
6. どんなときでも、愛し導いてくださる神様への信頼の心をもつ、ヨブさん。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月30日 「若い日に造り主を覚える」 伝道 12・1～14

1. 皆さんは、毎日幸せだなーと思うときはありますか。人間にとっていちばん幸せなことはなんでしょう。
2. 伝道の書を書いた人はソロモン王といわれています。伝道の書には「空」という言葉が何度も出てきます。
3. この聖書個所に書かれている「空」とは、心の中がからっぽで、すべてはむなしく、悲しく、さみしいのです。
4. 心がからっぽでなくなるただ一つの道、それは人間を造ってくださった神様を信じるということです。
5. 神様は私たちが滅ぶことを望まれず、私たちの身代わりにイエス様をこの世に送って下さいました。
6. このことを信じるときに、むなしかった心が満足し、楽しいな、うれしいなと思えるようになります。他のどんなことにもまして、幸せだなと思えるのです。からっぽだった心の中に、イエス様がいてくださるからです。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。